

Tottori Prefectural College of Agriculture

令和6年度入学

学生募集要項

養成課程

(出願書類付)



専修学校 鳥取県立農業大学校

〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居 1238

TEL(0858) 45-2411

FAX(0858) 45-2412

E-mail : nogyodaigaku@pref.tottori.lg.jp

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>

鳥取県立農業大学の紹介

本校の教育目標

次代の農林業を担い、指導的役割を果たし得る人材を養成する。

本校の特色

- ◎ 学生同士の信頼関係、学生と教師との信頼関係を大切にしながら、教育を行っている。
- ◎ 全国有数の充実した施設を活用し、高度で先進的な農業技術を学ぶ。
- ◎ 生産技術だけでなく、経営や流通・販売を体系的に学ぶ。
- ◎ 学生ごとの課題解決学習を中心として、実践的な技術・知識を学ぶ。
- ◎ 26日間の農業インターンシップにより優れた農業経営・農家生活の実際を学ぶ。
- ◎ 学校教育法の「専修学校」であり、専門士の称号が付与され、4年制大学への3年次編入学の試験を受験することができる。
- ◎ 学生寮（男女別棟、個室）を完備しており、希望者は入寮できる。
- ◎ 就農をめざす社会人経験者も学生として受け入れ、新規学卒者と協働し、互いに刺激しあって勉学に励む教育を行っている。
- ◎ 国際農業交流館を中心に国際交流を積極的に推進し、外国人農業研修生を受け入れ、学生と交流を図っている。
- ◎ 就農希望者や一般県民を対象に幅広く農業研修を実施しており、常に研修生や一般県民と学生が接触する機会の多い「開かれた校風」となっている。

本校の教育制度

本校は、農業分野において、産業として自立できるビジネス感覚に秀でた人材を育成するため、農業に関する生産から販売まで体系的に学習する養成課程に農業経営学科を設置して、その中に5つの専攻コースを配置する。

【養成課程】

農業経営学科

- 果樹コース：日本有数の産地である鳥取県のナシ栽培技術をはじめ、カキ、ブドウ、リンゴ等の主な品種について実践的な果樹経営、栽培技術を学ぶ。
- 野菜コース：鳥取県の特産であるスイカをはじめ、トマト、イチゴ等の施設園芸や白ネギ等の露地栽培技術・経営を修得する。
- 花きコース：ビニールハウス、ガラス温室により、鳥取県の主要花きであるストック、シンテッポウユリ、花壇苗等の基礎的栽培管理技術及や花き経営を学ぶ。
- 作物コース：水田の主要作物である水稻・大豆等について、基礎的な知識と年間を通じた管理技術を修得するとともに、水田営農における経営者・オペレータとしての必要な栽培・経営技術を学ぶ。
- 畜産コース：乳牛、和牛の基本的な飼養管理技術を体得するとともに、大型トラクターやフリーストール牛舎と自動化の進んだ搾乳室等で、近代的な畜産経営を学ぶ。

資格・免許・特典

- 1 本校養成課程の卒業生は、人事院規則及び鳥取県人事委員会規則に定める「短大2卒」の資格に準じて取り扱われる。
- 2 卒業生は4年制大学の3年次編入試験を受験することができる。
- 3 卒業生に「専門士（農業専門課程）」の称号が与えられる。
- 4 日本学生支援機構等の奨学金を受けることができる。
- 5 農業経営者になることについて強い意欲を有し、本校を卒業後1年以内に就農または雇用就農する場合は、在学中に就農準備資金の受給申請をすることができる。
- 6 在学中に、以下の資格試験等を受験・受講することができる。
 - ①大型特殊自動車運転免許及びけん引免許（農耕車に限る）
 - ②日本農業技術検定
 - ③家畜人工授精師免許（畜産コース学生に限る）
 - ④食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2)
 - ⑤フォークリフト運転技能講習
 - ⑥玉掛技能講習
 - ⑦小型移動式クレーン運転技能講習
 - ⑧2級ボイラー技士免許
 - ⑨ガス溶接技能及びアーク溶接特別教育
 - ⑩小型車両系建設機械運転特別教育（3t未満）
 - ⑪危険物取扱者免許
 - ⑫毒物劇物取扱者免許
 - ⑬日商簿記検定 3級

注①～④は校内で試験・受講、⑤～⑬は校外で実施される講習等に出席し、試験に合格することが必要となります。
(講習会・資格試験の出席は公休として扱われる)

卒業生の進路状況

平成30～令和4年度卒業生（101名）の進路

自営就農 10名(10%) 農業法人等に就農 45名(45%) 研修等の後に就農 6名(6%)
農業関連企業団体（農協、農業機械・資材メーカー等） 17名(17%) 一般企業 8名(8%)
地方公共団体等 8名(8%) 進学 4名(4%) その他 3名(3%)

※上記の括弧内の数値は少数第1位を四捨五入しているため、合計が100%とならない。

本校の沿革

- ・昭和 4年 財団法人山陰国民高等学校として開校。農村経済更正運動の一環として農村の中堅人物の養成を目的に設置された。
- ・昭和 9年 県立修練農場として新発足。
- ・昭和24年 県立経営伝習農場と改称。中学校卒業者を対象とした修学1年の本科と高等学校卒業の研究科が設けられた。
- ・昭和42年 県立農業経営大学校と改称。農業の近代化と農業自営者の高学歴化に対応するため、高等学校卒業者を対象とし、農村における指導的役割を果たし得る農業者の養成を目的に修学2年として新発足した。
- ・昭和59年 県立農業大学校と改称。国際化に対応した優れた農村指導者の育成と農業者のみならず農業の指導的役割を果たす人材養成を目的に教育内容を充実して改称した。また人事院規則の運用により短期大学卒業者と同等の処遇を受けることとなった。
- ・平成 9年 教育施設の全面整備と併行して、養成課程修了者を対象とした、より高度な教育を行う研究課程を新設し、従来園芸試験場、畜産試験場に設置されていた技術研修所を改組し、即就農に必要な専門的実践技術を取得するための1年制の専門技術課程を設置した。また、国際農業交流館の新設に伴い、農業者等の生涯学習拠点となるよう研修課程の充実を図った。
- ・平成12年 専門技術課程に林業担い手の養成のため、森林科を新設した。
- ・平成19年 専修学校として新発足。農業改良助長法に基づく農業者研修教育施設であるとともに、学校教育法が規定する専修学校として位置づけられた。
- ・平成20年 教育・研修体系を見直し、養成課程の果樹科、野菜科、花き科、畜産科を養成課程農業経営学科として再編成し、この学科内に5つの専攻コース（果樹、野菜、花き、作物、畜産）を設け、研究課程と専門技術課程は廃止した。また、研修課程に短期研修科を新設した。
- ・平成27年 研修体系を見直し、短期研修科をスキルアップ研修および先進農家実践研修に再編するとともに、アグリチャレンジ科（公共職業訓練）を新設した。
- ・平成30年 農業における食の安全、労働安全等を持続するための農業生産工程管理の国際水準であるGLOBALG.A.P.をカリキュラム化

令和6年度入学学生募集要項

1 募集定員、募集方法

課程	学科	専攻コース	募集定員	募集方法	その他
養成課程	農業経営学科	果樹コース 野菜コース 花きコース 作物コース 畜産コース	30名	(1) 推薦入学 (2) 一般入学 (3) 社会人特別入学	・各コースの募集人員は7名程度とする。(ただし、花き・作物コースは5名程度) ・推薦入試の合格者は、各コース募集人員の上限の60%程度までとする。 ・募集定員30名のうち、社会人特別入学者は5名程度とする。

注) 出願時に、専攻コース(果樹、野菜、花き、作物、畜産)志望調書に第1志望と第2志望を記入して提出する。第1志望での合格者が専攻コースの募集人員上限を超える場合は、第2志望で合格にすることがある。

2 受験資格

(1) 受験資格(共通)

本校養成課程を受験することができる者は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項に規定する者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第1項に規定する者とは

- ① 高等学校卒業若しくは中等教育学校を卒業した者。
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む)。
- ③ 文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者。

(2) 推薦入学の場合

上記の受験資格(共通)に加え、次の要件を満たす者として、高等学校長から推薦された者。

- ① 鳥取県内において農林業及びその関連産業に従事しようとする強い意志を有する者。
- ② 自律と協調性に富み品行方正である者。
- ③ 学業成績の総合評価がC以上である者。
- ④ 入学が確約できる新規学卒者。

(3) 社会人特別入学の場合

上記の受験資格(共通)に加えて、令和6年4月1日現在で年齢65歳未満、かつ2年以上の職歴があり、卒業後県内に就農することが見込まれる者。

(注) 就農とは、自営農業に従事すること及び農業法人に就職すること等をいう。

3 入学選抜試験日程

区分	推薦入学	一般入学前期 及び 社会人特別入学前期	一般入学後期 及び 社会人特別入学後期
受付期間	令和5年9月11日(月) ～ 9月29日(金)	令和5年10月30日(月) ～ 11月14日(火)	令和6年1月4日(木) ～ 1月18日(木)
試験日時	令和5年10月20日(金) 午前9時から	令和5年12月3日(日) 午前9時から	令和6年2月4日(日) 午前9時から
合格発表	令和5年10月27日(金) 正午	令和5年12月8日(金) 正午	令和6年2月9日(金) 正午

(注) 定員に満たない場合は、2次募集を行う場合がある。

4 出願手続

(1) 出願手続(共通)

入学を志望する者は、次の書類を郵送又は直接本校に提出する。

- ① 入 学 願 書 …… 本校の指定様式によること (別紙様式1)。
- ② 履 歴 書 …… 本校の指定様式によること (別紙様式2)。
- ③ 専攻コース志望調書 …… 本校の指定様式によること (別紙様式3)。
- ④ 高等学校等の発行する調査書 …… 文部科学省所定の様式により当該高等学校長が作成したもの。
当該高等学校長は封筒に入れ封印する。高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)に該当する者は合格成績証明書。
※ 社会人特別入学の場合は、提出する必要はない。
- ⑤ 写 真 …… 1枚 裏面に氏名を記入する。
出願前3か月以内に撮影した上半身で縦4cm×横3cm

(2) 推薦入学の場合

上記(共通)のほか

- ⑥ 高等学校長の推薦書 …… 本校の指定様式によること (別紙様式4)。

なお推薦入学に応募し選考にもれた者は、①入学願書、③専攻コース志望調書、⑤写真の提出のみで一般入学試験を受験することができる。この場合専攻志望を変更してもよい。

(3) 社会人特別入学の場合

上記(共通①②③⑤)のほか

- ⑦ 高等学校卒業証明書又は高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格証書の写し。
但し、短大、大学等の高等学校以上の学歴のある場合は、最終学校の卒業証明書でもよい。
- ⑧ レポート …… 「私の考える農業への夢」と題して、1,200字程度の作文(様式自由)を入学願書と同時に提出する。

5 身体に障がいのある入学志願者の事前相談について

本校に入学を志望する者で、身体に障がい(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障がいの程度)がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、その旨を記載した文書(様式自由)を入学願書と同時に提出すること。

6 受験及び入学費用

(1) 入校選抜手数料

養成課程の選抜試験を受けようとする者は、入校選抜手数料 2,200 円を納付しなければならない。

入校選抜手数料は、入学願書と併せて納付する。

※本冊子にある納付書で払い込んだ際に受け取った納付済証を入学願書の裏面に貼り付けてください。

詳しくは本校にお問い合わせください。

(2) 入校料

養成課程に入校しようとする者は、入校料 5,550 円を納付しなければならない。入校料は、合格者に送付する入学許可申請書と併せて納付する。

※詳しくは本校にお問い合わせください。

※入校選抜手数料、入校料は、火災、風水害、地震等の非常災害により資産が著しく損なわれた場合、減免することができます。また、日本学生支援機構の給付奨学金を申請した者は支払いを猶予することができます。減免または猶予を希望する者は事前に本校にお問い合わせください。

(注) 入校選抜手数料、入校料の金額は改定される場合がある。

7 願書受付期間

(1) 推薦入学の場合

令和5年9月11日(月)から9月29日(金)午後5時まで
(郵送の場合は、9月29日の消印まで有効)

(2) 一般入学及び社会人特別入学の場合

前期：令和5年10月30日(月)から11月14日(火)午後5時まで
(郵送の場合は、11月14日の消印まで有効)

後期：令和6年1月4日(木)から1月18日(木)午後5時まで
(郵送の場合は、1月18日の消印まで有効)

8 願書提出先

〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238番地
鳥取県立農業大学校
(封筒に「入学願書在中」と朱書きのこと)

9 入学選抜試験

(1) 選考方法

①推薦入学の場合

小論文、面接及び関係受験出願書類の成績を総合して判断する。

②一般入学の場合

学科試験、小論文、面接及び関係受験出願書類の成績を総合して判断する。

③社会人特別入学の場合

小論文、面接及び関係受験出願書類の成績を総合して判断する。

(2) 日 時

①推薦入学の場合……………令和5年10月20日(金)午前9時から

②一般入学及び社会人特別入学の場合……前期：令和5年12月 3日(日)午前9時から
後期：令和6年 2月 4日(日)午前9時から

(3) 場 所 鳥取県立農業大学校

(鳥取県倉吉市関金町大鳥居1238番地)

(4) 試験科目等

①推薦入学の場合

小論文及び面接(集団及び個人)

②一般入学の場合

学科試験(数学の筆記試験)と小論文及び面接(集団及び個人)

※学科試験の範囲

数学：「数学Ⅰ」「数学A」

③社会人特別入学の場合

小論文及び面接

(5) その他

受験のための送迎、宿泊、食事を希望するものは本校で斡旋する。

10 合格発表

(1) 推薦入学の場合……………令和5年10月27日(金) 正午

(2) 一般入学及び社会人特別入学の場合……前期：令和5年12月 8日(金) 正午
後期：令和6年 2月 9日(金) 正午

いずれも本校本館玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、農業大学校ホームページに掲載の上、本人には文書で通知する。

1 1 入学手続・学費等

(1) 入学手続方法

合格者には、合格通知を送付して、入学許可申請書の提出を求めた後、入学許可証を発行する。なお、入学説明会（別途通知）を開催し、入学手続、入学日時、入学準備等について詳細に説明する。

(2) 学費等

年間授業料111,600円^(注)、年間寮費（希望入寮制）約60,000円、その他に教科書代、教材費、学生会費、保護者会費、各種資格試験受験料等の費用として約90,000円、合計年間約27万円が必要である。ただし、食費、農業インターンシップ、県外研修、健康診断等で要する経費は別途必要である。

（注：年間授業料の金額は改定される場合がある。）

(3) 奨学金等

①日本学生支援機構等の奨学金を受けることができる。

②農業経営者になることについて強い意欲を有し、本校を卒業後1年以内に就農または雇用就農する場合は、在学中に就農準備資金の受給申請をすることができる。

（注：就農準備資金についてはその他の事業要件があるので、詳しくは本校にお問い合わせください。）

1 2 試験結果の情報開示請求

鳥取県個人情報保護条例に基づき、受験者は口頭により試験結果の開示請求をすることができる（合格発表の日から1か月間）。

詳細は農業大学校にお問い合わせください。

《お問い合わせ先》

学校要覧等の資料、入学願書の請求及び入試に関する問い合わせは下記の機関に照会してください。

機 関 名	所在地・電話番号
鳥取県農林水産部農業振興監農業大学校 教育研修担当	〒682-0402 鳥取県倉吉市関金町大鳥居 1238 TEL(0858)45-2411 FAX(0858)45-2412
鳥取県農林水産部農業振興監経営支援課 農業普及推進室	〒680-8570 鳥取市東町1丁目220 TEL(0857)26-7388 FAX(0857)26-7294
鳥取県農林水産部東部農林事務所 鳥取農業改良普及所	〒680-0061 鳥取市立川町6丁目176 TEL(0857)20-3562 FAX(0857)37-1283
鳥取県農林水産部東部農林事務所 八頭事務所 八頭農業改良普及所	〒680-0461 鳥取県八頭郡八頭町郡家 100 TEL(0858)72-3837 FAX(0858)72-3567
鳥取県中部総合事務所農林局 倉吉農業改良普及所	〒682-0802 倉吉市東巖城町2 TEL(0858)23-3190 FAX(0858)23-3198
鳥取県中部総合事務所農林局 東伯農業改良普及所	〒689-2301 鳥取県東伯郡琴浦町八橋 212-1 TEL(0858)52-2125 FAX(0858)52-2127
鳥取県西部総合事務所農林局 西部農業改良普及所	〒683-0054 米子市糺町1丁目160 TEL(0859)31-9685 FAX(0859)39-0494
鳥取県西部総合事務所農林局 西部農業改良普及所大山普及支所	〒689-3303 鳥取県西伯郡大山町所子 541-8 TEL(0859)53-3721 FAX(0859)53-3723
鳥取県西部総合事務所日野振興センター 日野振興局 日野農業改良普及所	〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨 140-1 TEL(0859)72-2024 FAX(0859)72-2090

- 1 推薦入試
- 2 一般入試 (前期)
- 3 一般入試 (後期)
- 4 社会人特別入試 (前期)
- 5 社会人特別入試 (後期)
- 6 2次募集 (一般入試 、 社会人特別入試)

受験する入試区分の番号を○で囲むこと。
※「6 2次募集」の場合は、()内の
該当する入試区分も○で囲むこと。

入 学 願 書

鳥取県農林水産部農業振興監農業大学校長 様

私は、貴大学の 養成課程 農業経営学科 コース

に入学したいので、関係書類を添えてお願いします。

年 月 日

住 所

(ふりがな)
氏 名

(注) 志望する課程、学科の次の欄は第1志望のコースを記入する。
入学選抜手数料納付済証は、裏面の貼り付け欄に貼付する。

(裏面)

入校選抜手数料納付済証
貼り付け欄

※領収日付印が押印されている
ことを確認すること。

履 歴 書			年 月 日 現在
ふりがな 氏 名			生年月日 昭和 平成 年 月 日生
自宅住所			
郵便番号		電話番号	
学 歴	学 校 ・ 科 名	修 業 年 限	卒業・卒業見込み・中退の別
		年 月 日～ 年 月 日	
		年 月 日～ 年 月 日	
		年 月 日～ 年 月 日	
		年 月 日～ 年 月 日	
		年 月 日～ 年 月 日	
職 歴	年 月 日	記 事	
免 許 及 び 資 格	取 得 年 月 日	記 事	
そ の 他	好 き な 学 科		
	特 技		
	趣 味		
備 考			
独立行政法人日本学生支援機構の 給付奨学金の予約申込みの有無		有 ・ 無	

養成課程農業経営学科
専攻コース志望調書

氏名		
志望する専攻コース	第1志望	
	第2志望	
入学を希望する理由		
専攻の選定理由		
将来の進路		

推 薦 書

鳥取県農林水産部農業振興監農業大学校長 様

住 所

氏 名

生年月日 平成 年 月 日 生

上記の者を、鳥取県立農業大学校養成課程の学生として適格と認め、責任を持って推薦します。

年 月 日

学 校 名

校 長

印

推 薦 理 由

1 農業に対する意欲

2 学業成績

3 人物

4 教科外活動その他

(注) この文書は推薦者が封筒に入れて封印すること



(農業大学校全景)

